

# 新年度を迎えて

～助け合いと思いをやりを～

〒730-0013

広島市中区八丁堀 13-15 八丁堀ビル

TEL/FAX 082-222-2246

発行責任者 理事長 神垣和美

● NPO 法人中国 SLA 協会 ●

## 「バトンを受けて一年」

理事 武井美智子

青葉若葉が美しい季節になりました。皆様にはお変わりございませんか？

このたびの北陸地方の災害には胸を痛める日々ですね。私たち会員も一同で、SLA からお見舞いをいたしました。皆様のご協力をいつも感謝いたしております。

早いもので、私たちがバトンを受け、一年がたちました。微力ながらも理事長を中心に、月一回理事会を開き、いろいろ協議してまいりました。とにかく参加しやすく、気持ち良く「私でも協力できる」を一同心がけてまいりました。

「できることをできる会員が前向きに！」と、行事も協力いただきました。心から感謝いたします。これからも、一年の反省を踏まえ、さらに皆様のご意見をより生かせる SLA を目指し、一步一步前進してまいりたいと思います。一層のご鞭撻ご指導をいただきますようお願いいたします。



## 「東日本大震災の被災地及び被災者の皆さまに心よりお見舞い申し上げます」

### 《義援金のご報告》

3月31日、中国新聞社会事業団に、NPO 法人中国 SLA 協会より義援金 5 万円を送りました。義援金は日本赤十字社を通じて被災者のために使われます。長い避難生活の苦難に胸が痛みます。直接の被害がなかった私たちに「何ができるのか」継続して考えていきたいと思えます。義援金の件は、3月21日(祝)平成 22 年度第 10 回理事会にて審議しました。



## 「SLA 養成講座 6 月 3 日より開講」

第 7 回シニアライフアドバイザー養成講座を広島市、広島市未来都市創造財団（旧ひと・まちネットワーク）、中国新聞社の後援をいただいて実施いたします。

これまでの人気講座に加えて、認知症、在宅での看取り等、SLA にとって学びたい講座を現場で実践されている講師にお願いしています。



SLA の皆様、お時間の許す限り、受付等の応援をいただきましたら幸いです。併せてお知り合いに受講をお薦めいただき、受講生募集にご協力をお願いします。（受講案内を 1 部同封しております）

**\*平成 23 年度通常総会のご案内\***

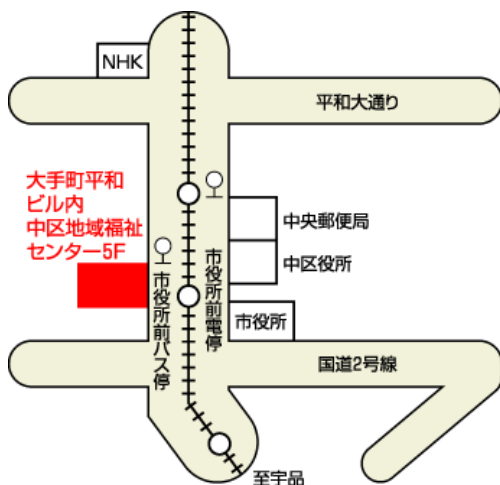
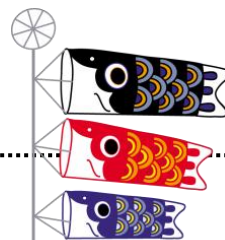
- 5 月 29 日 (日曜)
- 午前 10 時～12 時
- 広島市中区地域福祉センター  
ボランティア研修室  
広島市中区大手町 4-1-1  
大手町平和ビル内

\*地図参照

○なお、詳しいご案内は、5 月中旬にお送りする予定です。

**【総会の流れ】**

- ・受付 午前 9 時半より
- ・総会 10 時より
- ・交流会 11 時 15 分より
- 活動報告
- 近況報告など
- 会費：100 円(お茶・お菓子代)



**AEON** イオン宇品店  
 広島市南区宇品東6丁目1番15号  
**082-250-8100**

**「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン贈呈式」**

中国 SLA 協会は、イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンの登録団体になっています。4 月 3 日 (日) イオン宇品店 でありました贈呈式に出席し、イオンギフトカード 5,600 円の贈呈を受けました。

イオンの地域貢献活動として、毎月 11 日に実施されるもので、当日発行される黄色いレシートを登録団体のボックスに入れていただくと、レシート合計金額の 1%がいただけます。事務所用品として大切にさせていただきます。5 月は 11 日、12 日とキャンペーンが実施されます。SLA 会員の皆様のご協力をお願いします。(藤咲 俊昭)

印刷用紙、プリンターインク、のりなどの事務用品に交換いたしましたので、ご報告いたします。イオン宇品店にお近い方は、是非お出かけください。駐車場も広く、快適にお買い物が楽しめます。(幸田 洋子)



特設全国一斉電話相談 報告

副理事長 藤咲俊昭



3 月 26 日 (土)・27 日 (日) と「シニアの悩み 110 番」が実施されました。

未曾有の東日本大震災の影響で、東北 SLA 協会は参加できず、電話相談の記事も一部の新聞紙上だけとなりました。中国 SLA 協会は、両日併せて 5 件の相談結果に終わりました。これまで地元の新聞記事掲載で多くの相談が寄せられたことを感謝し、今後に向けて大きな示唆をいただきました。

ました。

東北 SLA 協会を除く電話件数の全国集計は 157 件でした。電話相談に参加いただきました協会員の皆様ありがとうございました。



「エンディングノートを考える」

これは、WE プラザ版エンディングノートです。昨年 10～11 月、広島市女性教育センター、己斐上公民館、広島市男女共同参画推進員、広島県行政書士会広島支部との協働事業に参画した際に教材として使いました。

エンディングノートとは、自分の人生の終末期における過ごし方や亡くなった後のこと、自分の歴史、財産、医療や介護・葬儀の希望などの思いをつづるノートです。

「ああ、いい人生だった」と終わりたいなど誰もが願うものです。前向きな老い支度をする、そのお手伝いをするのがエンディングノート。

武井美智子さんと私が、読売新聞の取材を受けました。4 月 17 日朝刊の記事を次ページで紹介しますので、ご一読ください。

記事中に「南区の女性」とあるのが、武井さんです。写真はご自身のエンディングノートで、手も武井さんです(笑)。49 日法要の直前にも関わらず、取材協力に応じていただき、お礼申し上げます。(幸田洋子)

\*WE プラザ版エンディングノート 190 円 (事務所に在庫が少しあります)



会報をお届けします。最近、皆さまと顔を合わせて話をする機会が少なくなりつつあります。5 月 29 日(日)の総会後は、皆さま方の活動の様子など、情報交換の場とする予定です。「久しぶり…」と声をかけあい、絆を復活させましょう。(事務局 幸田洋子)

【連絡・お問い合わせ】FAX は協会事務所へ、TEL は 090-4146-0282 へ。

《読売新聞 2011 年 4 月 17 日朝刊 27 面》

\*実際の新聞記事 貼付

「理想の最期」前向きに  
広がるエンディングノート  
葬儀の希望、財産記す